

# と い ろ 通 信

2017年10月

第63号 (神無月)

皆様、こんにちは！すっかり秋らしくなってきましたね。という木曜スタッフの川澤岳也です。今回もどうぞよろしく願います。まずは先月のというの中の動きから・・・



これは先月(9月)7日(木曜日)という撮影された写真です。ご覧になっていただいておりますかと思いますが、豆ごはんが写っていますね。これ、私が作りました！と言うとちょっと大げさかもしれませんが、この日、「豆ごはんを作ろう！」と準備

していた私は、11時前にお米を洗い始め、研ぎ終わった後、おひつに材料を放り込み、炊飯ジャーのスイッチを入れ、1時間ほど待ちました。すっかり炊き上がり、ご飯の上にたっぷり豆が乗っていたので、一生懸命混ぜて、みんなに分けました。同日スタッフの清遠くんやジョニー・テッパさんが「豆が上手い！美味しい！」と言ってくれたので感無量でした。坂本会長もタッパーに入れて持って行ってくれました。作ったとき、私も食べて、家に持って帰ってもう一度食べたのですが、不思議と持ち帰って我が家で食べた時の方がおいしく感じました。調味料が偏っていたせいかもしれません。機会があればまた作ってみたいと思います。



そして、今回はもう一つというネタがあります。何と、というの新たな備品として、ノートパソコンが増えたのです！で、先月(9月)21日に設定作業を行いました！途中、行き詰まってしまい、困っていたら、清遠君が「パソコンの周りを片付けましょう！」と言ってくれたので、その通りにしたら上手くいきました。清遠君、ありがとうございます！今後、このノートパソコンは、というパソコン教室を行う時などに活躍する予定です。(注・9月末日現在でまだ若干設定の仕事が残っています。)

で、話題は変わって今回のという通信の執筆の苦労に関する話です。実は、前回のという通信を執筆している、「今回のハナシがへ川澤岳也のひきこもり生活の入口」の話なら、次回は、ひきこもった川澤がどうやってひきこもり生活を送っていたか、ということにしようと思いましたが、しかし、その後に、「いや待て、個人的な物をあんまり垂れ流すのはパブリックなものとして問題があるな。なら、ちょっとひねって、へ川澤がいかにひきこもり生活から立ち直ったか?」川澤が如何に『苦労』を取り

戻したか?」にしよう！」と考え直して今回の内容を書くことにしたのです。というわけで、『苦労を取り戻す』というテーマは北海道・浦河へてるの家で行われている「当事者研究」に端を発しているわけですが、今回の執筆に当たって、様々な関連書籍を読んでいます。でも、困ったことに、本を読めば読むほど、自身の記事を書く力が失われていくような気がして仕方がないのです。「読まないと言えない」ということはよく言われることですが、「読んでも書けない」というか、「読んだ」から『書ける』とは限らない」というか、文章を書いていくには元々才能がないと言えないというジレンマに直面し、七転八倒の執筆生活を送っています。以前のという通信の原稿執筆はこんなに苦しくなかったんですけどね。むしろ「書く」ということが結構楽しかったんです。でも、原稿の分量が増えた途端、逃げたくなるようになってしまっています。前に「ジョジョの奇妙な冒険」という漫画で、原作者がしんどそうに見える創作をしていたことにこのコーナーで触れたことがあるのですが、実は私は「ジョジョ」以外にも

「こりゃ作ってる人、きつそうだな・・・。」と思わされる作品を見たことがあるのです。「機動戦士ガンダム」シリーズの二本目や、平成「カメラ」シリーズの二本目がそのようなですが、「ハートじゃなくてアタマで作ってるでしょ?」と思わず言いたくなってしまったような作りでした。でも、ゼータガンダムは自分のガンブラ初体験でしたし、カメラ2は某アニメ雑誌の感想文紹介コーナーで、雑誌スタッフの漫画家さんがG1（「カメラ・大怪獣空中決戦」）派の人の意見を取り上げて同意したのに納得いかなくて、某模型雑誌にG2擁護論を送ってしまったことがあります。（若気の至り・八つ当たり?）ゴメンナサイ!）要するに私はアタマで作った作品に愛を感じてしまう傾向があるようなのです。多分、自分が頭脳人間だからなのだと思います。うのですが、感性で受け止めるより、理屈で説明された方が分かりやすく感じるタイプなのだと思います。でも最近、というか特にひきこもり生活に入る前後からなのですが、アタマで捉えることの限界を感じるようになっていきます。前回のところ通信にも書いたのですが、私が以前「良

い」と思っていた人との人間関係が実はとても怪しいという経験をした。初対面で「この人は信頼できる」と思った医師から医療ミスにつながる指示を受けたりと、頭腦的な判断が原因で危険にさらされること。たび重なり、人生の判断基準の見直しを迫られています。世の中の制度が頭腦で判断するように作られているのに、実際はハート（こころ）で決めないと行き詰まるという矛盾に直面し、心底困っています。おそらく、世間のタテマエが理屈（アタマ）で成り立っていて、本音（ハート）が感性から来るもので動いているのだと思います。

〈実例 私の通ったサークル〉

ひきこもり生活に入って1・2年であるサークルに所属することにす。サークルの世話人の方はみんなの前で「我々のサークルにはイジメはないんだ!」と得意げに語っていて、その場にいた私はみんながそのことに同意の笑みを浮かべたのを見た。しかし数年後、同サークルに所属している世話人の友人から社交の場で私がいじめ被害に遭った時、その世話人は私の訴えに対し「イジメは被害に遭う方が悪い」と言わんば

かりの話の聞き取り方をし、いじめ被害も「気の持ちようだ」と冷たく切り捨てた（注・それ以前にも実はたびたびいじめ加害者から嫌がらせに類する行為をされていた）。その世話人といじめ加害者の友人は同じころの問題を扱う「道徳科学」という名目の別サークルに所属していた。自分の仲間を守るなあの意識から人間として筋を通すより村社会の連帯を選択したものと思われる。親子ほども年が離れている人間を排斥して置いて『道徳科学』を学んでいると主張しても理屈が成り立たないでしょ!と突っ込みたくなるのだが、「いじめはいじめられる側に責任がある」という古い教育と、何でも仲間との繋がりを重視する日本人の特性が悪い方に出た出来事だと思われる。その後数年して疑問をぬぐいきれなくなった私は、自然退部という形でそのサークルを去った。

今回は自分のひきこもり生活と照らし合わせて敢えて重いテーマについて書かせてもらいました。本当はもっと軽いものを書きたかったのですが、「アタマ」と「ハート」ということから意外な深みに入ってしまった。それではまた来月!

居場所「という」の所在地は

T781・5102

高知市大津甲969-3です。

TEL・FAXは

088-821-6519

メールアドレス

[qav3dr9k@globe.ocn.ne.jp](mailto:qav3dr9k@globe.ocn.ne.jp)

または

[skatoiro1016@gmail.com](mailto:skatoiro1016@gmail.com)

お便り、お待ちしております。

相談メール・友達メール・お尋ねメール何でもOKです。

↑というスタッフからのお願い・初めて来所される方はどうぞお読みください↓

というは月・水・木・土曜日の午前10時から午後4時までの間オープンしています。もちろん、アポなしでの来所も構いませんが、出来れば来る前に居場所にお電話いただくと助かります。というの近くまで来てくれたら迎えに行くことも出来ます。一度試しに覗きにおいでくれたらと思います。お菓子と飲み物（麦茶・ジュース）があります。漫画コーナーには「ジョジョの奇妙な冒険」文庫版 第一部・第二部と第四部が揃っています。第三部を揃えるかは未定です・・・。